

松本孔貴助教が「日本放射線影響学会 第59回大会」にて寺島論文賞を受賞

昨年度 Journal of Radiation Research 誌に掲載された論文「Enhanced radiobiological effects at the distal end of a clinical proton beam: *in vitro* study」が日本放射線影響学会の寺島論文賞を受賞しました。

放射線感受性の細胞周期依存性など、放射線影響研究に偉大な功績を残し、放射線医学総合研究所所長としてもこの分野の発展に御貢献された寺島東洋三先生の名前を冠した寺島論文賞は、日本放射線影響学会会誌；Journal of Radiation Research (JRR) への貢献がきわめて顕著な論文の著者に対して授与されるものです。

授賞式は、平成28年10月26日から28日にかけて開催された「日本放射線影響学会 第59回大会」にて執り行われました。



左：松本孔貴助教

